

小樽開発建設部は後志総合振興局と連携を深め 「世界の後志」を目指します

ShiriBeshi

「世界の後志」を目指して

— 後志総合振興局とのコラボレーションロゴを制作 —

第8期となる北海道総合開発計画は「世界の北海道」を目標に平成28年3月に閣議決定され、北海道が世界に誇る「食」と「観光」を生み出す北海道の所謂「地方部」を「生産空間」と概念付け、その維持・発展を目指しています。

後志地方は、「北海道の縮図」とも言える多様な「食」の生産形態（稲作、畑作、果樹、畜産、水産）と、北海道随一の多彩な「観光」の資源（山、川、海、雪、温泉、歴史等）を持ち、「世界の北海道を目指して」を牽引するエリアです。

計画期間3年目を迎える今年度は、このポテンシャルを内外に発信すべく、「世界の北海道を目指して」を明確に目標に位置付けるとともに、同じエリアを行政区域とする北海道後志総合振興局との連携を深めたく、後志総合振興局のシンボルマークをお借りしてコラボレーションロゴを制作いたしました。

今後、当部が実施する事業や地域づくり活動について、高い目標と「All後志」の視点で進めていくシンボルとして活用してまいりたいと考えています。



— 5月22日（火） パネル記念撮影 —
勝木後志総合振興局長（左）と橋本小樽開発建設部長